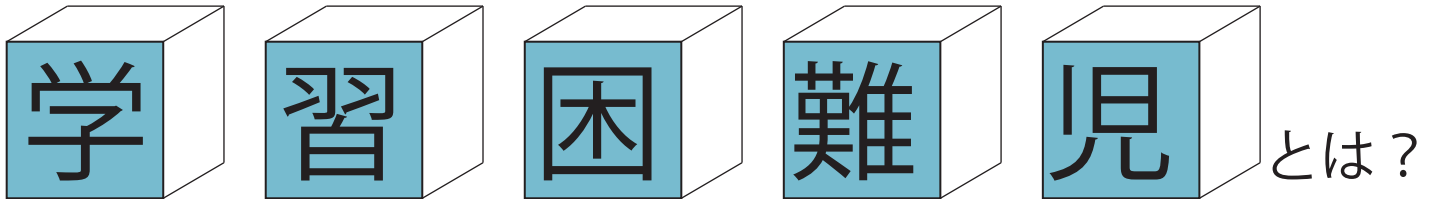


「学習困難児研究会」開催のお知らせ 【参加無料】

共催：相模女子大学中学部・高等部

後援：相模原市教育委員会

なぜ勉強が思うように進まない??



★勉強に馴染めない原因はなんだろう？

発達障害や発達グレーゾーン、発達以外の要因である家庭環境や生活習慣、愛着障害や意欲低下、勉強嫌い、非行、怠けなど……。場合によっては、これら複数の要因が重なり合っていることも多くあります。その子自身が「勉強ができるようになりたい」と思っているかがとても重要なポイントになります。

では、やる気があるのに勉強に馴染むことができない原因はどこにあるのでしょうか？ その子の知的能力などを分析する方法の1つとして「WISC-IV」などがあります。何が得意で何が苦手なのかなどを明らかにすることができます。

★どうすればいいのか？

例えば原因が全般的な知的能力の低さならば、学習内容を易しいものにし、その子の興味に沿ったものから知識を広げる必要があります。WISC-IVの下位検査指標の一つである、言語理解の低さであれば、「話す、聞く」という聴覚刺激を補うための視覚刺激（板書、プリント、図表、絵、写真、動画など）が有効です。知覚推理の低さであれば、「目で見て判断する」という視覚刺激を補うための聴覚刺激（図表や絵、写真などについての言葉での説明）が助けになります。ワーキングメモリーの低さであれば、短期記憶や同時作業容量の小ささを補うためのメモや、指示をひとつずつ出すといった工夫が肝要です。処理速度の低さであれば、書く力を補うための板書の撮影、タブレットやノートパソコン使用の許可などの配慮が求められます。

★周りの大人が正しい知識を持ちチームで支援する

これらの例のように、原因が明らかになれば、対策も立てられます。その子の得意な面で苦手な面を補えば良いのです。一人ひとりの特徴を活かした学習方法で、学習への動機づけが高まれば理想的である。本研究会では、「学習困難児」と呼ばれていた子たちが、ひとりでも多く「学習を楽しめる子」になれるように、1つでも多くの可能性を探っていきたいと思っています。皆様の中には、「ただでさえ多忙なのに、これ以上発達障害について学習して、配慮するなんて、負担や疲労が増すだけだ」と思われている方もいるかもしれません。しかし、私たちが学ぶことによって、日頃から気になっている子供たちへの支援の方法が見つかるはず。それがチーム支援のきっかけとなり、むしろ結果として負担や疲労は減ることになります。そして、それが一人でも多くの子供を救うことにつながっていくのです。

子供たちの未来のために、私たちと一緒に考えてみませんか？
研究会では、裏面のそれぞれのテーマに沿って詳しく掘り下げていきます。
皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

2022年度「学習困難児研究会」実施詳細

当日は、臨床心理士・公認心理師をはじめ、心理カウンセラーや教育関係者も参加しての「講演会+質疑応答」形式の勉強会になります。定員制になりますので、事前にお電話またはインターネットにてお申し込みが必要です。なお、参加費は無料です。

教員・保護者・学生など、どなたでもご参加いただけます。

回数・日程	研究会テーマ・内容
第1回 5/28(土)	学習困難児たちの現状と分析 発達障害と認定されないグレーゾーンの子供たちの現状と症状について WISC-IV などによる弱点の分析と理解
第2回 6/25(土)	学習困難児たちを取り巻く環境要因や子育て グレーゾーンの困難児は、どのような環境で生きているのか？ 子育てが子供たちに与える影響とは？
第3回 7/30(土)	子供たちの頭の中を知ろう！ 発達障害児たちは、サボっているのではなく参加できない… 子供には学校や社会がどのように見えているのか？
第4回 8/27(土)	子供たちは助けを求めている？ 環境になじめないことを歓迎している生徒はいない しかし、誰にどうやって助けを求めたらよいか分からない…
第5回 9/24(土)	子供が頼りたい大人とは？ 子供が嫌いな大人のタイプとは？ どんな大人になれば相談したいと考えるのか？ きちんと子供の話を聞いていますか？ 子供だからと見下していませんか？
第6回 10/22(土)	子供と接する上で大人が気を付けるべきこと 子供との信頼関係がなければ、カウンセラーでも真実を聞くことはできない 子供として扱うのではなく、一人の人間として接することの大切さを知る
第7回 11/26(土)	子供を知ること、理解することは専門の知識がなくてもできること 環境に恵まれれば、発達障害の症状すら改善できる場合がある WISCIVの結果は今の症状であり、未来を暗示しているものではない
第8回 12/10(土)	子供の性格の多くは、後天的な生活環境に左右されることが多い 人間は「出来事→感情」ではなく「出来事→捉え方→感情」で形成されている、 この捉え方が正しい感情を阻害していることもあるので、方向修正は可能である
第9回 1/28(土)	ふりかえり 学習困難児の困りごと、現状と分析 学習困難児との関わり方や話の聞き方

共 催：相模女子大学中学部・高等部

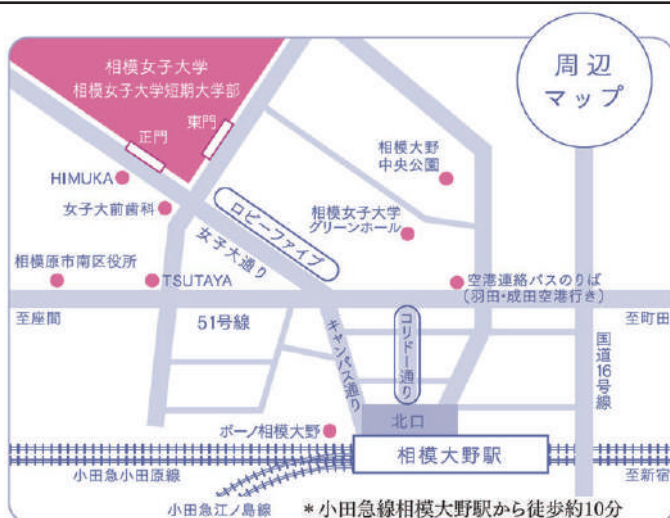
後 援：相模原市教育委員会

開催場所：相模女子大学 あかね 茜館 催事場

予定時間：14:00～15:00

(30分前より入場が可能です)

※上記は年間計画のため日程が変更になる場合があります。お手数ですが早期にお申し込みいただいた場合は、必ず1ヶ月ほど前に日程の最終確認をお願いいたします。



お申込み・お問い合わせ先
教育相談センター

☎042-813-8558

相模原市南区麻溝台6-18-1

特定非営利活動法人 **すがもキッズ**

1ヶ月以内の日程は右記
インターネット上からの
お申し込みが可能です。
QRコードを読み取ってください。

